広報
さめがわ

1971
10月号
No.215
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所

秋空に高くボールは乱舞する



県から体力づくりの村に指定されてから、鮫川村の社会体育はものすごい勢で盛んになりました。10月10日「体育の日」に開かれた村民体育大会に参加したソフトボールのチームは23、バレーボールのチームが19、江竜田の滝までのハイキングには高年令層の方々など約100名が参加しました。

くもり空ではあつたが、村内6ヶ所の会場には終日にぎやかな喚声があがり、村民挙げて体育の祭りをたのしみました。

⊙毎月1日は交通事故ゼロの日です
⊙11月3日文化の日
⊙11月19日～21日第24回鮫川村文化祭
⊙11月23日勤労感謝の日
⊙第3日曜日は『家庭の日』です

今月の人口

人口	6,499 (+21)
男	3,277 (+9)
女	3,222 (+12)
世帯	1,199 (+1)

土地改良区の現況と今後の課題

農業の近代化、経営規模の拡大と云う事は、随分前から叫ばれており、誰もが理想としている所です。土地改良区の役割もその理想に従つて、農村の発展と農家の利益の為に重大な責任を果すべき時期が来たことを痛感致します。

米の生産調整は、政府の政策として実施されていますが、これは米が剰る現実の問題としてやむを得ない施策であると私は思いますこの際、土地改良区の現状について述べてみたいと思います。

組織は鮫川村一円の農業者が組合員であります。総代は三〇人公選法により選挙され、組合員を代表する議決機関であります。

理事一〇名 監事三名が執行機関であり、運営の責任者であります。土地改良区の内容は総代はよくわかつているが一般には徹底しない点もあると思います。農協等と違つて今迄に少しも事業をしていないので全く関係ないと考える組合員も居るわけです。それに毎年賦課金を徴収する事になつているので、不合理であるという話もあります。法的には税金の様に徴収出来ることになつております。一般組合員が広く土地改良区を利用して頂くことが重要で、土地改良区の側からは組合員全体のために働くことが必要であります。

職員は現在二名、運営責任上会計主任理事も今後必要と考えます今年度の一般会計予算総額五百五十八万九千円余円です。事業は毎年一千万円以上実施していますがもつと土地改良区を活用してほしいと思います。土地改良区は、土地改良事業を実施する機関ですから、広く皆様の利用をお願いする次第です。

鮫川村土地改良区理事長
船木 操

過疎対策としての集落移転

村長 石田卯子八

村政の歩み (6)

近年経済の高度成長に伴い、農山村からの傾斜的な人口流出は、民族の移動などと大げさに表現されるほど、農山村には過疎現象を、都市には過密現象を起し、最も切実な社会問題となつてきました。

この大きな課題に直面して、市町村行政のベースではどのような対策を講ずべきか。わが村も指定をうけて、交通通信、教育文化、産業経済生活環境整備など広範な施策の樹立と実施を進めているところであります。

先頃県の過疎対策協議会が主催して、問題の多い集落移転を実施している新潟県下の町村を視察することになり、私もこれに参加しました。

集落が人口の急減によつて、集落としての社会的機能を失うことは、現実には消防活動や、農事組合などの共同的な防災、生産活動が低下、ないしは停止するようになり、隣保作用として存立する冠婚葬祭などが困難になる。制度の上で成立している学校教育、社会教育も本来の姿ではできなくなるわけであります。

これに加えて新潟県では、三〜四mに及ぶ豪雪という気象要因が根底にあるので、若年労働力の流出で、冬期間の交通確保が困難になり、屋根の雪おろし、道路の雪ふみは行われず、住民の生活不安が重くのしかかつてくることになります。

私たちは先づ集落移転を実施中の高柳町と小国町を視ました。

その中で高柳町の後谷部落では現に移転が進行している集落崩壊の現状を見たのであります。

この集落は、部落形成以来三五〇年ほどの歴史があるということですが、現在は九戸で山深い谷合いの中腹に散在していました。

これが町の移転計画に従つて全戸移転することになり、町の建てた町営住宅に入るもの五戸、個人住宅に入るもの三戸、東京都に出るもの一戸で、先祖以来住みなれたふるさとを全戸棄てることになつたわけであります。

折からドンヨリと曇つた裏日本の灰色の空からは、冷たい秋雨が降り出し、廃戸となるうらぶれた家々の傾きかけた屋根が、音もなく暮れていく姿は、陰惨ともいえるあわれさをそそりました。

かつて羽鳥湖の湖底に沈んだ羽鳥部落、只見湖の底に沈んだ田子倉部落の姿も見ましたが、これほど滅入るような淋しさはなかつたように思います。

移転した跡地は、すべて町が買上げて植林する計画とききましたが、町の財政負担とこれからの管理の苦労が思いやられました。

この方策が果して住民の幸福に連るか、地方自治体の行政施策として妥当で且つ効果的のものか、この疑問は消えなかつたのであります。

本県、またこの地方の場合、これほどの豪雪という要因はないし、このような形の集落移転より外にうつべき有効適切な手段がないとはいえないのであるから、その前の段階での集落の再整備、再編成が重要であると考えたのであります。

人事

◉新採用（十月一日付）

佐藤文夫 住民課国保衛生係
山本勝夫 財政課税政係
蛭田昌一 経済土木課運転手
南条仁孝 学校教育課運転手
佐藤幸男 学校教育課（中学校）用務員

◉教育委員任命

中川西金之助教育委員（委員長）が九月三十日で任期満了となつたゝめ後任に松本工氏が教育委員に任命されました。

なお委員長に緑川操委員、委員長職務代理者に芳賀正夫委員が互選されました。

おめでた

九月

新宿 千葉 佳子 父 敬
菅野目 大竹 一 〃 洋喜
大戸中 小松 宏幸 〃 幸一
広畑 藤田絵里子 〃 洋美
石井 中川西和彦 〃 一男
彦次郎 青戸さち子 〃 孝夫
道少田 水野 美幸 〃 美好

おくやみ

九月

広畑 荒川 春男 46才 世帯主
大塩 蓬畑福次郎 75才 シチ 矢吹隆

議会だより

九月定例村議会
四五年度決算認定される

九月定例議会は九月二十日午前十時開会、全員出席会期を三日間と定め決算認定ほか七議案が一括上程されました。村長から提案理由説明の後、午後から議案調査に入り、二十一日午前まで各委員会による議案調査が行われました。午後本会議を再開し、質疑、討論、採決、二十二日は六名の通告議員から一般質問を行い、村長その他からそれぞれ答弁がありました。

議案四一号は四五年度一般会計歳入歳出決算認定で監査委員の審査意見（決算は正当と認める）が付され審議のうえ認定されました

一般会計歳入歳出差引残額一一、七七〇、四〇三円は昭和四六年度に繰越となります。

議案第四二号は土地開発基金条例の制定で、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行をはかる目的で、基金八、九二一、〇〇〇円を積立てるもので、広域市町村圏に入つたため地方交付税で交付される額を積立てるものです。（原案可決）

議案第四三号、四四号、四五号は特別職の給与改定で、郡及び村の報酬等審議会の答申により、県内各町村の水準、一般職員の毎年行なわれている人事院勧告による給与改定、定期昇給とのバランス等を考慮し、次の額に改定し、本年四月一日から適用されることになりました。

給料月額、村長一四五、〇〇〇、助役一一〇、〇〇〇、収入役一〇〇、〇〇〇、教育長九〇、〇〇〇、報酬月額、議長三三、〇〇〇、副議長二八、〇〇〇、議員二五、〇〇〇（原案可決）

議案第四六号は旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の一部改正（原案可決）

議案第四七号は、決算認定に基づく四六年度一般会計の補正予算で、繰越金の確定や、土地開発基金条例制定に伴なう歳出予算の計上等。（原案可決）

議案第四八号は、十月一日就任すべき教育委員の任命について議会の同意を求める件で、先に区長議員を歴任した富田の松木工氏が全会一致で教育委員任命に同意されました。





体力づくりにハイキング

渡瀬川が、江竜田部落前の渓谷に添つて流れるところ、山峡の静寂をやぶつて、豪々たる飛瀑が天にとどろく。

この滝は二条の滝を一望できるところから二見の滝と呼ばれています。その周辺の渓谷の眺めは美しく、紅葉の頃は特に絶景といわれます。

またこの川にはヤマメやウナギも生息し、釣天句やハイカーにもよろこばれている所です。

村では10月10日の体育の日に、体力づくりのため、誰でも参加できる行事としてハイキングを実施しました。長生会の皆さんなど約100名の参加者があり、4kmの渓谷をハイキングして、自然を探勝したり、釣りを楽しんだりたのしいひとゝきを過ごしました。

地元の江竜田部落では、この日のために道路の清掃整備を行い、当日は部落の婦人会員が総出でお茶の接待を奉仕して感謝されました。

中野長生会の活動

中野長生会の秋季総集会は九月二十五日午前十時から七十五名の会員が参加し「長遠寺」で開催されました。

水野会長のあいさつに次いで昭和四六年度上半期の諸報告があり、昭和四六年度下半期の運営について協議した結果次のとおり決まりました。

一、会員一人二枚以上の雑布寄付

二、秋の研修旅行実施十月五日。

総会終了後物故された会員二十九名の追悼供養が執行されました。

「特例傷病恩給」
該当者は早目に請求を……

旧軍人（但し官衛又は特務機関勤務者を除く）旧準軍人（陸、海諸学校生徒）で昭和十六年十二月八日から昭和二十年十一月三十日までの間、本邦、台湾、朝鮮、満洲等、戦地に指定されなかつた地域で勤務し在職期間内にその職務に関連し負傷又は疾病にかかつた場合、昭和二十年九月二日以後引き続き海外にあつた者は復員の日までの間裁定庁が在職期間内の職務に関連したと同視することを相当と認めた場合、その障害が当時から現在まで引続いているもので障害の程度が恩給法に規定する特別項症から第五款症までに該当する場合に限り傷病恩給（年金）が支給されます。該当者は役場住民課で受付けていますからどうぞ。

一般会計歳出

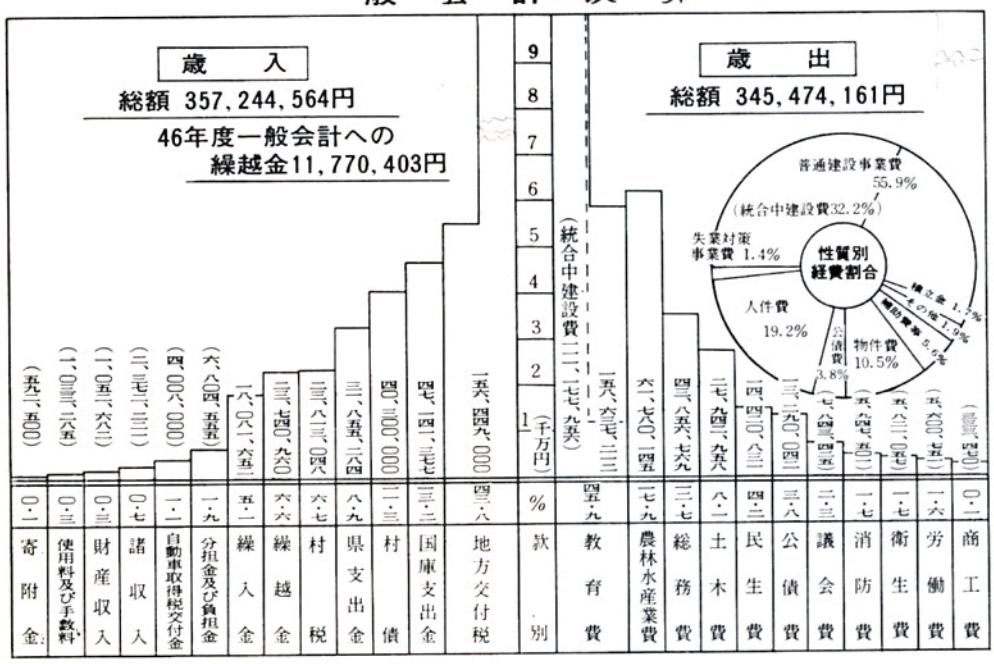
決算額で三億四千万円を超える

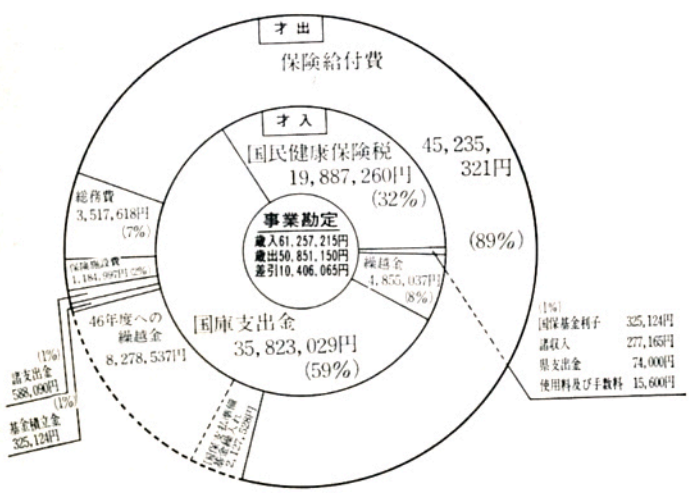
昭和45年度決算状況

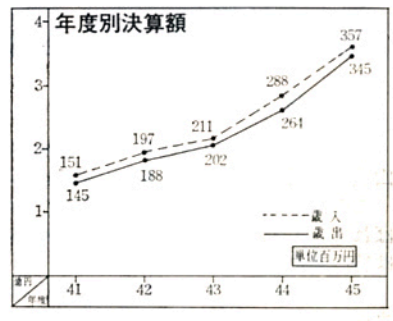
昭和四五年度の一般会計決算は歳入三五七、二四四千余円に対し歳出三四五、四七四千余円で、差引残額一一、七七〇千余円の堅実な決算となりました。歳出総額の四五・九%を占める教育費は、統合中建設費一一一、一七七千余円が最も大きな経費であります。農林水産業費六一、七八〇千余円の中には、畜産振興のための飼料基盤整備事業や、林業構造改善事業、林道開設事業等が含まれています。また性質別内訳では、普通建設事業費が五五・九%を占めており、類似町村では三五・八%で、いかに本村が投資的事業に力をいれているかがわかります。年々上昇している人件費は一九・二%を占めていますが、類似町村の二四・三%と比べれば可成低位にあります。

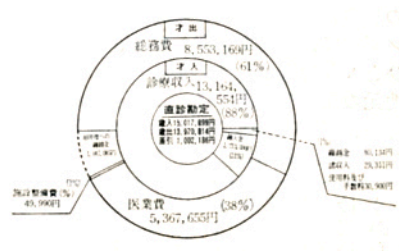
国民健康保険特別会計では、事業勘定、直診勘定とも、黒字決算となり翌年度へ繰越されます。

一般会計決算









盛会だった 村民体育大会

＝参加四十二チームで対戦＝

鮫川村では昨年から体力づくりの村に指定され、壮年ソフトボールや家庭バレーボールが村のすみずみまで普及し、一段と体育熱が高まりました。

今年十月月十日の「体育の日」に村民体育大会が開催されましたが、参加チームはソフトが二十三チーム・バレーが十九チームで、手に汗をにぎるような熱戦を展開しました。

また今年はかくれた名勝地江竜田の滝までハイキングを計画し、これには高令者の方々が多数参加されて大会を盛り上げました。

★ソフトとバレーの成績★

◎ソフト　優勝　西山Bチーム
　準優勝　新宿チーム

◎バレー　優勝　渡瀬Aチーム
　準優勝　西野Aチーム





熱戦を繰りひろげる決勝戦のひとコマと優勝した西山チーム

鮫川史（30）
赤坂真坂村に関する記録

国島義広

赤坂真坂村歴代名主庄屋組頭

自貞亨至慶応

年代	名主、庄屋	組頭	百姓代
貞亨四年	利兵エ	庄右エ門	三郎兵エ
明和元年	五右エ門	七郎次	利兵エ
慶応二年	西野村兼帯	七郎次	利兵エ
慶応三年	石井忠右エ門	白坂重右エ門	

一、高百六十六石五斗八升五合
　此反別弐拾四町八反五畝六歩余
　此訳
田高百五石弐斗四升四合
此反別拾壱町四反弐畝弐拾八歩余
　内訳
上田高二十石五斗七升九合
石盛十三（註石盛とは石に見積りて附税）
此反別一町五反八畝九歩
中田高二十二石五升三合
此反別二町十四歩余　石盛十一
下田高四十六石二升七合
此反別五町一反一畝十二歩余
下田高十六石三斗六升五合
此反別二町七反二畝二十歩余
下田高十六石二斗六升五合
此反別二町七反二畝二十歩余
畑高六十一石六斗五升一合
此反別十二町四反二畝八歩
　内訳
上畑高七石七升三合　石盛十
　此反別二十歩
中畑高四石九斗五升二合　同八
　此反別六反一畝二十七歩
下畑高二十六石四斗九升四合同六
下畑高二十六石四斗二合　同三
　此反別七町六反八畝二歩
　中略
一、百姓屋数　拾四軒　馬九疋
一、人別七拾一人
　内男三十六人　女三十五人
一、馬医、馬喰御座無く候
一、浪人、医師御座無く候
一、大工、鍛治、木挽、桶屋
　杣屋、左官並二渡職人御坐無く候
一、寺社方除地無御坐候
一、切支丹類族無御坐候
一、猟師鉄砲坐御候
一、有限鉄砲一挺御拝借仕置上申候
一、空屋敷無御座候
一、古城跡無御座候
一、古蔵無御座候
一、酒屋之儀者西野村二御坐候、公儀様へ御届置申候、中略
一、名主組頭百姓代江戸為御申唯今まで罷出者無御坐候
一、穢多猿廻し貰い人無御座候

右者此度御所替に付此村相改委細書上候通り相違無御座候　以上

明和元年申十一月

白川郡赤坂真坂村
　名主　五右エ門
　組頭　七郎次
　百姓　代利兵エ

藤山外記様
塙御役所

（湯坐武弥氏所蔵古文書より）

十月は簡易保険創業の月

郵政省の簡易保険は、大正五年に「国民の経済生活の安定と福祉の向上」を目的に創業されました以来国民のしあわせづくり一筋に歩み続け、この十月一日で五十五周年を迎えました。しかし、このごろの世相をみますと、交通事故をはじめとする災害による死傷が増加の一途をたどっています。

簡易保険の国民に対する使命はますます大きくなっていると申せましょう。郵便局では、簡易保険創業の十月を「簡易保険の月」とし、ご家庭に、高い保障のあるくらし、をおすすめにあがります。

（鮫川郵便局）

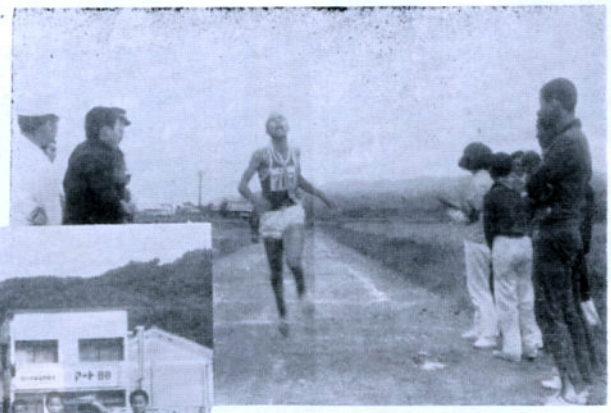
学校に雑布寄附

今年七十六才になる江竜田の芳賀イチさんは、校舎の清掃に役立て、下さいとゾウキン五十枚づつを中学校と渡瀬小に寄附しました。

お年寄りが丹精をこめて作ったこの贈りものに感謝して生徒たちは校舎の清掃に励んでいます。



鮫中生徒がんばる!!
◆駅伝競走郡大会で優勝◆





力走する鮫中の選手とマラソン部のナイン

鮫川中学校は去る十月二日、塙～矢祭間で行われた東白川郡中学校駅伝競走大会に参加し、日頃練習の成果を発揮して、一時間四七分一五秒の新記録でみごと優勝しました。

なおこの大会には、AB二チームが出場したが、Bチームも六位に入賞しました。

個人記録（◉印は区間新記録）

一区	矢吹孝史	一三分一一秒
二区	舟木武昭	一三分四六秒
三区	舟木勝弥	一三分五一秒◉
四区	遠藤　豊	一三分五八秒◉
五区	関根　博	一四分一〇分◉
六区	芳賀英次	一三分三五秒
七区	関根伸慈	一二分三四秒◉
八区	羽田義孝	一二分一〇秒◉

続いて十月十九日の県大会（郡山）に出場したが健闘、第九位となり好成績をあげました。

簡易水道計画成る

加入申込受付中

地域住民の要望もあり、村では一昨年から簡易水道給水施設について調査計画をすゝめてきましたがいよいよ本年度に水源地と配水池の施設工事を行い、来年度は配水管布設・消火栓、各家庭への給水管布設工事を行うことになりました。

◉今回の給水施設予定地域

・富田Ⅱ鍬木田（一部）・反田・二反田（一部）・彦次郎前沼

・赤坂東野Ⅱ広畑・官代（一部）

・赤坂中野Ⅱ巡ヶ作・新宿・道少田・伏木田・宿の入大塩

◉申込期限

十一月十五日までに申込んで下さい。その他詳わしいことは役場住民課水道係におたずね下さい。

⊙水道料金

料金 / 用途	基本料金（月額） 使用水量	基本料金（月額） 料金	超過1㎥当り料金	メーター使用料（月額） 13ミリ	20ミリ	40ミリ
一般	10㎥	450円	45円	50円	.	.
営業用	20	900	45	.	80円	.
共同用	10	450	45	.	.	50円

・メーター器は貸付になります。

⊙給水工事費概算

口径	新設工事費（本管から30mまで）	基準外費用 1m増す毎に
13ミリメートル	22,000円	200円
20ミリメートル	24,900円	250円

・上記は蛇口1栓の場合で、蛇口が増えればその分加算されます。
・13ミリは一般家庭用です。
・工事費は4回に分割して納入になります。

短歌

川を嘆く

手拭の端をもち合い岸に寄るメダカ掬えしかの川いづこ

川岸に竝みいる小さき魚群をうつす浅瀬の水澄みいたり

米を洗い野菜すすぎしこの川に今は河鹿も住まざりしとう

そのかみは川せきとめて童らが泳ぎし水の色今はなき

走るがに水底をゆく魚みつつこの静寂の幾月ぶりか

すいと飛び一声啼きて川面ゆく川鵜いたり川がらす見たり

ああここにまだ在りにけりせせらぎの響よ清しき水の匂ひよ

ビニールなど芽吹く柳の梢にありて渓流鮫川みる影もなし

経済の生長が自然を毒すとう川に政治をたれさせ給ひ

紫野美童子